伯剌西爾時報

NOTICIAS DO BRAZIL
Publicado semanalmente
Rua Fagundes N. 16
Caixa Postal H
Tele. Central, 5695
S. Paulo, Brazil
Proprietario e editor
Seisaku Kuroishi

Assignaturas

por Anno	15$000
„ Semestre	8$000
„ Mez	1$500
„ Semana	$500

共同の利益

豐作だと豫期された本年の米作は穗の出初めに雨が全く無かつたので日に焼けて收穫が二割方も減つた所があると思へば、此の小旱魃は却つて收穫を豫期以上に增した所もある兎に角本年度同胞の米作は、場所に依り其の收穫豫想に增減を生じたるも、平均して平作以上の出來榮えたるは事實であつて、吾人の大に慶ぶ所である。

然し大戰後世界到る處吹き荒した不景氣風は、比較的世界の經濟界に交涉の薄い、當伯國をも襲ひ來つて、事業家、商人などに可なり大なる打擊を與へて居るが、就中目下米の出來秋に於て、米を賣り拂つて一年の決濟を爲さんとする米作者に取つては、更に大なる打擊である、即ち米の出來秋を期限として、最寄商店から掛買ひの食料品などに對し、無情の土耳古人あたりから矢の如き催促を受け、其結果が遂に現物（米）引渡しを餘儀なくさるゝ向も出で、而かも其の場合米一袋八釬位ゐに蹈付けらるゝは、實に忍ひ難き不利なことである。

農業者に取つては、作物の不作は最も苦痛の大なるは云ふまでもないが、作物出來秋の相場低廉も亦農家の大打擊で、收穫物は一刻も早く賣りたいが、賣れば收支償はず、さりとて賣らざれば支拂勘定付かずで、空しく物品を抱いて之が始末に窮する場合がある、併し本年は幸ひにして未だ其れ程まで米の相場が低落した譯でもないから、若しも賣方の賣具合が巧妙ならば、可なり有利に賣捌く途もある。

所が日本人の癖として、各自單獨に自分一人が好相場で賣らうとして躁るから、つい仲買人などに足許を見られて、蹈倒さるゝを常とするのであるが、之は自己の計算から見ても、同業者一般の計算から見ても甚だ不利な行方であるから、農業物賣捌きの場合は各自深甚なる注意を以て最寄〳〵の同胞互に申合せの上最も信用の措ける商人と取引を開くのも有利なるを忘れてはならぬのである殊に作物の出來秋に於て相場低落の爲め、農產物を一時信用ある倉庫業者に寄託し、金の融通を計る場合は、最寄同胞共同して其の中から適任者を選び、最も安全に且つ有利な條件にて寄託及び金融の途を付くるが緊要であるから、米作者は此の米の出來秋に於て、之を賣るにも寄託するにも、共同して事を行るの有利なるを自覺すべきである。

米國抗議の理由

●ヤップ島海電に就き

米國は日本の行る事、爲す事に向つて喙を容れて居るが、其の中にも日本のヤップ島管理に關し國際聯盟に宛て强硬なる抗議を提出した、其の抗議の主旨はヤップ島の海電管理を日本に一任せず、國際共同管理にすべしと主張するのである

▲此の問題に關し『紐育新報』の報ずる處に依れば、米國の立場は先きに大西洋の獨逸海電を英佛兩國に奪はれたる際も法律違反なりと抗議し今回のヤップ島問題も亦國際法違反であると主張するのである、而かも極東に於ける英佛の利權を維持する方策としては海電交叉の中心地たる同島の管理を日本に一任する事に就ては稍や米國と同樣の意見を有するものゝ如く從つて駐米英國大使が本問題に就て日米間の爭論を仲裁せんとしつゝあるのも事實である

▲右に關し太平洋に於ける米國の海電利權を代表する易貿海電會社長クラレンスマッケー氏の說明に『獨逸の海電會社なるものは和蘭政府との共同投資に依りグアム島（米領）よりヤップに通じ其處から南へ蘭領印度群島に一は北上海へ分岐して居るのであつて米國政府の海電はグアム島で終るべく獨和海電會社と契約したもので蘭領印度への電報はヤップを經由し若し米線に故障生じグアムより比律賓を經て支那に赴く送電不能の場合は獨和線を利用してヤップ島經由の上上海及比島に送電してゐたのである

▲然るに若しヤップ島が永久に日本の管理となるならばグアム比律賓不通の場合は全部の送電が日本を經由しなければならないのである今回吾等が日本へ抗議する理由は大西洋の英佛海電管理と等しく是等の海電は何れも日本に直通し居らず米領グアムを經由するのであつて日本一國のヤップ管理は即ち米國の支那及比島に對する貿易上に非常なる不利を持ち來すと云ふのである

▲太平洋のヤップ島は事實に於て海電の交叉點たる以外に何等の價値無い島である、蓋し太平洋の面積は然く廣大なれば米國よりの送電も從つて先づ布哇ホノルヽに送られ其處よりミドウエー島グアムを經由しヤップに到り此處より北は上海に南は比島を經て蘭領印度に達するので日本が同島を管理するならば送電拒絕の權利をも保留すべく遂には米國の海電利權を日本へ讓步せざるを得ざるに至ると言つて居るのである

●日本人は蝦だ

茅原華山

近頃日本人は幾分横に目覺めて來たが、是が未だ或一部で國民全體に徹底することは容易ではない、哲人政治家が出でゝ内生活と、外生活とを根本的に一變するの大策を施すに待たねばならない、蝦と蟹とは同じ種が一は縱に立體的に發達し、一は横に平面的に發達したものだ、蟹は常に横に這ふが蝦は常に縱に泳いでゐる日本人は臺灣を取つたが、決して臺灣を我物にする用意がない、官も民も出稼ぎに行くのだ小金が出來れば、直ぐに所謂『内地』に引上げる朝鮮に對しても滿洲に對しても西伯利に對してもさうだ、日本人は無意義に『内地』々々といふが、去らば臺灣朝鮮は『外地』なのか兎に角日本人は無意識的に所謂『内地』を以て安住すべき唯一の世界として居るのである、或は言はん朝鮮や臺灣はあれは政府が取つたのだ、我々の關する所ではないと、然らば北海道は如何、北海道は自然的に日本のインテグラル、パートを爲してゐるといつても不可はない、然るに北海道の建築は皆バラック式だ。『同じ死ぬなら内地で死にたい』といつて、所謂『成功』したものは皆所謂『内地』に歸つて來る、北海道も日本人は『内地』に數へてゐないから『外地』であるに相異ない、果して然らば日本國民の生活は世界の總面積の四百五十六分の一なる本島四國、九州に蟄つてゐるのである、臺灣、朝鮮、滿洲のみならず北海道さへ然りとすれば、日本人が歐羅巴や北米や南米や南洋に出掛けて行くや否『旅は憂いもの辛いもの』と感じ少時にして猛烈なるホームシックに襲はるゝの決して偶然ならざるを知ることが可能る譯だ、生活に促がされて無理に横に『内地』から外世界に這ひ出しても皆忽ちにして内地に引上げそして蝦のやうに政府や資本家を賴りに生活難の海を縱に泳いで苦しんでゐる日本人は蟹ではないが確に蝦だ、此『内地病』は日本國民を擧げての痼疾である、貴族やブルジョアは能く口癖のやうに下々のものがといふが下々のものもさうだが上へのものもさうだ、所謂日本の改造は國民的でなければならぬ普遍的でなければならぬことは此點からも明瞭である貴族も資本家も勞働者も老人も青年も皆爲つてゐない。

謹告

拜啓　各位益々御清穆の段奉大賀候偖而昨年十一月末より十二月初めに亘り相催候帝國練習艦隊歡迎に關する會計報告は會計主任者が不慮の奇禍に罹り且つ又『ナタアル』『年始』『カルナバル』等引續き各自多忙を極め候爲め乍不本意延引を重ね醵金者諸賢に對し甚だ申譯無之此段不惡御寛容被下度候然る處今般漸く其整理を終り左記の通り決算報告申上候

報告中相見候如く寄附金總額四十七コント强にして最初の豫算の倍額以上に達候は偏に諸賢の熱誠なる御賛同に依るものにして歡迎の實施も所期以上の好果を以て終了候段御同慶至極に奉存候

報告書中差引殘金六コント五百十七ミル二百五十レース有之候が此内より曾て發表申上置候通り醵金者御一同に對し記念品として磐手淺間兩艦の雄姿、司令官舟越中將及兩艦長の肖像、司令官の揮毫其他艦隊歡迎の盛況を收めたる寫眞帖又は繪葉書を作成進呈仕度計畫に候に付之に要する費用は何れ差引を要する儀と御承知被下度其等は後日總締切の節更に御報告可仕候

記念品贈呈後の總締切勘定に於て尙ほ殘金相生じ候節は之を決算諸書類と共に總領事館へ御保管を願ひ今後又在留民一同にて此種の事を行ふに當り轉用充當の事に致度此義特に御賛同願上候

右御報告迄如此御座候　敬具

大正十年四月一日

練習艦隊歡迎團顧問　藤田敏郎　靑柳郁太郎

同委員（イロハ順）
岩淵彪夫　橋本蒼　渡久地政人
渡邊孝　中村善三郎　上原直松
上原清吉　熊坂淸四郎　黑石淸作
山田揚之助　藤井力太　赤嶺新榮
鮫島直哉　座木琢磨　三吉一義
宮城利三郎　志賀伊之助　瀨木四十逸

練習艦隊歡迎團各位御中

帝國練習艦隊（磐手淺間）歡迎團會計決算報告

（大正九年十一、十二月に於ける）

總收入　四十八コント五百十六ミル八百レース也

内譯

項目	コント、ミル、レース
『サンパウロ』市及其附近集金	一六、一一〇、〇〇〇
食劵賣上代（サンパウロ市宴會場九十七名分）	六七九、〇〇〇
歡迎會場用品跡始末品賣却代（サンパウロ市）	三九〇、八〇〇
地方集金	一四、四九五、〇〇〇
『サントス』市（『ジュキア』線共）集金	一六、六〇七、〇〇〇
歡迎會場用品跡始末品賣却代（サントス市）	二三五、〇〇〇

總支出　四十一コント九百九十九ミル五百五十レース也

内譯

項目	コント、ミル、レース
案内費（サンパウロ市に於ける）	一、八四八、三〇〇
装飾費（サンパウロ市歡迎會場）	二、三四五、一〇〇
宴會費（右同）	五、四五〇、九五〇
樂隊費（サンパウロ市歡迎會場）	四三〇、〇〇〇
事務所費（サンパウロ市）	一、一七七、六〇〇
地方より醵金送料不足支拂	三七五、〇〇〇
事務所費（サントス市）	七〇一、八〇〇
烟花費（サントス市）	一、〇八二、二〇〇
案内費（サントス市）	一、三六〇、二〇〇
歡迎會場諸費（サントス市宴會費共）	六、五七九、八〇〇
活動寫眞案内費（サントス市）	七〇〇、〇〇〇
雜費（サントス市）	四八三、三〇〇
『ジュキア』線案内諸費	二、四八四、九〇〇
委員事務上諸旅費（サントス市及ジュキア線委員用）	一、六四九、四〇〇
『ジュキア』線集金其他諸雜費	二〇〇、〇〇〇
委員二名『リオ』行旅費	四五三、九〇〇
艦隊へ進物費（寫眞帖二千部、珈琲樹二十本）	一、六六七、〇〇〇
廣告及諸印刷費	二、〇四〇、〇〇〇
運動會費（サンパウロ及サントス市）	五五二、六〇〇
送迎費（艦隊入出港の節）	一、二二一、〇〇〇

差引殘金　六コント五百十七ミル二百五十レース也

右之通りに候也

▼▲東西南北▼▲

◆伊國へ派遣された露過激派政府商務委員ヴォロヴスキ一行の荷物廿七箇を税關が檢査すると云ひ出し商務委員大に憤慨し無檢査を主張した

◆すつた揉んだの末檢査する事になつた處中から寶石貴金屬品が出で密輸入として税金の三倍の罰金を課せられて商務委員大に氣量を下げた

◆土都君斯坦府ではランゲル將軍の部下二萬餘人が避難し之が始末に困つて居る處へ更に南露からの避難者が續々と來るので當局者大に閉口

◆レニン其主義綱領に改正を加へ外國資本を露國に放下せしむるには先づ米國と握手するに如かずと新大統領に秋波を送る其の文書中に曰く

◆ウイルソンは理由なく絶えず過激派を攻撃せり彼は在職八年露に對し敵意を示せりとレニンもウ氏を攻擊するはハ氏を賞むるに優るを知る

◆先週以來獨逸工業都市の共產主義者暴動を起し警官との衝突絶間なくハンブルグ、フライブルグ等最も激烈を極め死傷者多數あり酸鼻の極

◆ハンブルグの暴徒は同地最大の造船所ブローム、フォス會社を襲ひて之を占領し赤旗を掲げしが間もなく警察隊の奮闘に依り奪回せられた

◆獨逸系米人にして富豪なるバルグドル戰時中徵兵に採られたが脱走して獨逸へ入り込んだ形跡あり之が逮捕の命を受け密偵二人獨逸へ入る

◆一日伯林にてバルグドルに邂逅したので捕へんとして格鬪を演じ密偵二人アベコベに獨逸官憲に捕へられて投獄目下米は獨に引渡し交涉中

◆中南米廿一箇の羅典系共和國は北米を盟主とする國際聯盟を組織しモンロー主義を徹底的に世界に承認せしめ樣と北米系パナマ人計畫せり

◆伊國上院議員グレピ伯百三回の誕辰を迎へ長壽法の秘訣を說く曰く疲勞する迄働くな、滿腹する迄飲食するな、盛に步け然し決して走るな

◆秘露大統領令息レギア大尉リマ紐育間大飛行を企てエクワドルに着陸した處日頃秘露に好感を有せざる同國人彼に危害を加へんとし政府又默許してるので汽船に乘つて歸國す

◎東京電報

●北米艦隊動員の風説　（東京發電）

太平洋沿岸に於ける北米艦隊出師準備の風説に關する北米よりの通信は當市に大なる反響を與へたり、此風説に就き議會に於ける質問に答へて海軍大臣は『若し此風説にして眞ならばこれ外交上由々しき大問題なり』と云へり、政府筋に於ては一般に此風説の無根なるを確信せり

●外交問題と上院に於ける外相の説明　（東京發電）

内田外相は上院豫算委員會に於て、露國がカムチャッカの一部を日本に譲渡したりとの風説に關する質問に對して説明して曰く、此商議は未だ決定するに至らず、政府は支那に對しカムチャッカに於ける日本の利權に關し五箇條の新要求を提示したるも支那政府は未だ回答せず、然れども必要の場合日本はカムチャッカに於ける漁獵其他の利權保護の爲適當の手段を講ずるの準備は整ひ居れりと

●カムチャッカに於ける漁獵保護　（東京發電）

西伯利に於ける日本の漁獵其他の利權に關する日本の要求に對し支那政府は之を拒絶したるに依り、日本政府は同地に於ける日本漁夫保護のため軍艦を派遣すべし

●海底電線に關する日米協定　（東京發電）

グワム島の舊獨逸海底電線及上海に通ずる日本海底電線に關し日米間に近く協定成立すべしと噂せらる

●東京の大火損害一千萬圓　（東京發電）

廿六日千餘戸を燒き盡したる東京大火災の損害高は一千萬圓を下らざるべしと各新聞紙は報せり

●日本の舊獨領占有と東洋平和　（東京發電）

當市諸新聞は舊獨領諸島に就き左の如く報道せり、舊獨領諸島占有に關する日本の提議は東洋の平和を維持し且つ太平洋の通商航海を保護するの意に外ならず、故に日本は其占領諸島に於ける軍政を廢止すべし、該諸島に於ける軍事的設備云々の風評は其根據甚だ薄弱なるものなり

●日本最後通牒を支那及西伯利に發す　（東京發電）

日本は西伯利に於ける漁獵其他の利權保護の爲自由行動を執る事を宣言し、支那及西伯利革命政府の何れも最早や日本と商議を開始するの不必要を言明し兩政府に對し一種の最後通牒を發したり、日本が此態度を執るに至りしは西伯利に於ける米作に適する土地の譲渡及支那領地沿岸に於ける日本人の漁獵許可に關し兩政府が之を拒絶したるに由るものなり

◇經濟欄◇

●來年度珈琲收穫…佛伊銀行豫報…

聖市の佛伊銀行は一九二一―一九二二年即ち來年度の珈琲收穫に關し二十四日左の豫想を發表したり

生産珈琲樹	本	收穫	袋
サンパウロ州	七九、三六二、〇〇〇	六、五〇四、一五五	
ミナス州	三九、三六、〇〇〇	六〇〇、〇〇〇	
合計	八九、八〇、〇〇〇	七、一〇四、一五五	

右は之れまで一般に豫想せられし所よりも少量なるが、理由は珈琲樹の狀態が大體に於て良好なるに係はらず本年度割合多量の結實ありたるも一部地方に冷風の被害ありたる爲開花狀態思はしからざるにありと又本年度の收穫は珈琲樹千本に對し平均六十五アローバなるが來年度は平均三十三アローバ則ち割合に於て殆ど半減の見込なりと

●州内債募集決定

聖州政府は一時借入金整理の爲十五萬コント（一五〇、〇〇〇、〇〇〇ミルレース）限り内債を募集するに決し、之に關する法令二十三日發布せられたるが、同公債は利息七分償還期限二十五ヶ年なり

●聖州は自力招來

聯邦政府に於ては移民の渡航補助に關し聯邦、州兩政府協同招來案を立て各州政府に照會する所ありしが聖州政府は既に自力招來の方策立ち財政上聯邦政府の援助を要せざるを以て之を謝絶し、唯西班牙、獨逸特に伊太利諸政府に對し其入民の伯國移住を妨げざるよう聯邦政府に於て外交上適當手段を採られんことを請望したり

●獨逸の南米航路

當今獨逸實業界の主腦にして同國第一の富豪たるフーゴ、スチンネス氏に由て組織せられし汽航會社は四月二十五日其南米航路の第一船を出帆せしむべく、同航路はハンブルグ、リオ、ブエノス、アイレス間毎月一回の定期往復にして一萬二千噸の新造船ヒンデンブルグ、チルビッツ兩汽船之に充當せらるべしと

●新パナマ運河

米國前陸軍卿ベーカー氏曰く現在運河は今より十五年後には大西、太平兩洋間に於ける商業の要求に應ずること能はざるべきが故此際新運河の開鑿を企つること必要なり、新運河はパナマ又はニカラグワならざるべからず然して商業見地よりするも將た軍用の目的よりするも新運河は海平線となすを要すと

新大統領ハーヂング氏亦就任前パナマを視察しパナマ運河を海平線に改築するの必要を公言したり

然しながらベーカー氏は現在運河の改造を不利とし現在のものは其まゝにし別に一大運河開鑿の得策なるを主張し且つ曰く

予は將來の製艦に關する海軍省の計畫を承知せざれど現在のパナマ運河が將來超ドレッドノートの通過に不適當なるは想像に難からず

●綿製品の値下げ

英國の綿布大製造場二ヶ所に於ては前週其の製品の卸値段引下を發表し或る品物は昨年最高時に比し三割安となりたり

英國綿製造品は尚引續き下落の步調を保つべき形勢なるが、勞銀其割に下落せざる故戰前の價まで低下することはあるまじく當時の價の五割高位の所にて其下落の步を停止すべしと觀測する者多し

●經濟界の回復期

米國のリテラリ、ダイジエスト社が全米國の主要新聞の經濟記者、重なる工業家及大學の經濟擔當教授に對し其意見を徵したる所、本年四月頃より回復に向ふべしといふ者ある一方には、來年に至らざれば氣直り見込なしといふ者ありて、所説紛々一定せず大學教授に至ては、不景氣未だ呑底に達せず回復に向ふ前、今一段の困難あるべしと豫想する者多し

勿論右は一般的觀察にして、石油石炭に關する事業は相變らず好況なり、最も不振なるは織物、自動車、棉花、砂糖、木材等にして此方面の事業に於ては職工の解雇、賃銀の減等頻りに行はれ甚しきは全く工場を閉鎖するに至りたり

此際歐洲經濟界研究の爲滯歐中にしてゼチバの國際聯盟會議にも經濟專門家として列席したるナショナルカッシ、レヂスター會社長バタソン氏が電報を以て前記質問に答へたる所は時弊を喝破し最も肯綮に當れり曰く

世界の商業は今や難境に在り過剰の産物を擁して之が販路を得るに苦しみつゝある國民ある一面には此等物資の缺乏を訴ふる國民あり船舶は運ぶべき貨物なく空しく繫岸し數百萬の人は働くべき仕事なく生計に苦しむ

此時に當り列國は泥醉せる船乘の如く爭鬪準備の爲頻りに金を費しつゝあり

世界の商業は今や全く指導者を缺く、速かに國際同盟を組織し、戰爭を差止め、戰鬪準備を廢し、國際信用を回復し、疾患を防遏し以て商業の發達を計る事必要なり、今は眞にこれ文明の危機なり

●物價表（昨日）

棉上（エンラーマ）	一アローバ	一
同（エンカローソ）	一アローバ	一
米　特等	六〇キロ	一
同　最上等	六〇キロ	一
同　上等	六〇キロ	一
同　並等	六〇キロ	一
モミ　特等	六〇キロ	一
同　最上等	六〇キロ	一
同　上等	六〇キロ	一
砂糖　特等	六〇キロ	七四、〇〇〇
同　一等	六〇キロ	七二、〇〇〇
豚脂（聖州産）	六〇キロ	一一〇、〇〇〇
同（南リオ州産）	六〇キロ	一一八、〇〇〇
マンヂオカ粉（亞國産）	五〇キロ	一五、五〇〇
メリケン粉	四四キロ	三九、〇〇〇
同（内國産）	四四キロ	四〇、〇〇〇
豆（ムラチニオ、セツカ上）	六〇キロ	
同（ムラチニオ、アケア）上	六〇キロ	一三、五〇〇
豆（中）	六〇キロ	
同（中）	六〇キロ	
豆（アランコ）	六〇キロ	
ミリヨ（アマレリニオ）	六〇キロ	一一、五〇〇
同（アマレロ）	六〇キロ	一一、五〇〇
同（アマレロン）	六〇キロ	一一、五〇〇

廣告

今般左記の場所に於てマカロン及フバ製造業開始仕候間舊に倍し御引立の程偏に奉願上候

目下卸相場

一、マカロン上等一キロに付金一ミル四百レース
一、フバ一袋（百リットル入）金十五ミルレース
一、白米粉一袋（八十リットル入）金二十四ミルレース
一、クヅマカロン一袋（廿キロ入）金二十六ミルレース

但し御注文はマカロン五十キロ以上クヅマカロン、フバ及白米粉は一袋以上にして現金に御願ひ致し申候

尚當場に於て廿歳前後の青年にして身體强壯なる者二名大至急雇入れたし月給初年は勞働衣、食附金六十ミルレース次年度より仕事に熟練の結果七十ミル以上百ミル迄希望の方は本人直接御來談

アラ、クワラ線タクワリチンガ町ビスコンデ、ド、リオブランコ街二十八番
マカロン製造卸商　渡邊正次

日本人諸君に對しては特に懇切に一切の法律事務の御相談に應じます

辯護士　ジョアキン、デルフイノ、リベーロ、ダ、ルース
事務所　總領事館同建物四階十四號室
Dr. J. Delfino Ribeiro da Luz
Largo da Sé No. 3, 3°. andar
Sala 14　S. Paulo

旅館

成功館
古謝將義
電話番號 一二〇〇八
Largo 7 de Setembro, 15 Santos

大正小學校後援會

寄附金募集廣告

本會創立以來已に壹ケ年有餘の星霜を經過し各會員及び篤志者諸氏の熱誠を以て援助持續し來る今日に當り尚同胞子弟に完全の教育を施すには是非獨立校舍設備の必要を感じ候就ては茲に本會起ちて校舍の買入或は新築に要する費金の募集を發企し廣く同胞篤志者に圖る事に致し候間何卒御賛同の上御寄附被成下度願上候

追て寄附金は本會會員山田隆次氏 Rua Conde de Sarzedas, 55 又は岡本龍太郎氏 Rua Estudante, 81 へ御渡し被下度候

大正十年三月廿五日　大正小學校後援會

在伯同胞諸彦

◇廣告◇

左記當社貸付者の現住所御一報を得度候

淺岡才治　藤井藤次郎　藤井宗太郎
藤田彌作　五島菊市　堀田仁作
箱崎庄右衛門　石河熊吉　井上浩平
川田政太郎　黑田高一　河村末太郎
宮武勘六　宮内寛　三宅武七
三尾長松　峯尾理一　松田德次郎
竹田森次郎　中村梅二　中山善隆
中牟田榮太郎　野中重助　大谷峰松
尾花長次郎　佐々木五作　新門藤吉
平楠太郎　田中勝二　谷市松
山田佐平　山下清市　柳幸次
深堀孫市　森山大二　小原福三郎
管沼末吉　島越忠吉　山住市太郎
吾妻吉太郎

大正十年三月

海外興業株式會社伯國支店
Caixa Postal, 1082　S. Paulo

聖波羅土地材木殖民會社

◆當社は水質良好、氣候温和にして珈琲其の他の全作物に適する肥沃なる絶好殖民地ビリグイ。エイトール、レグルーの土地を廉價且つ拂込方法を容易にして賣却す
◆當社は既に千八百家族の各國人を有し、其中四百家族の日本人植民し且道路四通八達し兒童教育機關及日本醫院の設備等あり
◆尚詳細は左記宛御照會ありたし

ビリグヒ代理人　宮崎八郎
Est. Birigui　I. NOROESTE

●伯刺西爾曠原の探險

米國　テヨドル、ルーズベルト著
日本　北島湖西子譯

第七章　ブーロ隊ニヤンビクアラ横斷　(七)

又ブール牛等の野に曝されたる遺骨を見たり、而かも余等より前きに進めるアミルカ大尉の放棄せしブールや牛に出會せり、此等は夜に入りて水飼ふべく足跡を追ふて來るために殘されし者なるが、或者は豫定の如くなりしも、或者は全く死せるが如く、或は死を待てるが如く不動に立てるを見る、此時余等も亦自己のブール一頭を遺さゞるを得ざるに至れり。

如何なる牧草がブールに適するやを知ることは非常に困難なり、午後倭小なる林中を流るゝ小川の邊に野營せるが、晝間はブト及小さき虻多く夜に入りては小形の蚊、伯語にてボルヴヨラーと稱する者多く、蚊帳の目をくゞり人を腦ませり、牧草少なく林深き所明け方にブールを收容するの非常に困難なるを想像せるに事實は然らざりき、翌日午後美麗なる牧場樣の所にて一方に水の深さ八尺許の清き流れの邊りに宿り、一行は心地よく水浴せり、周圍の草は見事に見へしもブールは全く之を喰はざりしにより已むなく他に移せり、又害蟲は其數非常に多く形小なる虻蚊に數種あり、其他ピユームと稱する北方の黑蠅に等しき吸血蟲あり、刺したる當時何等のことなきも長く痒ゆく瘢痕を殘すを常とす、防禦法として顏網、手袋ありと雖も暑氣には五月蠅く、蚊帳なくしては眠る能はず、定着せんとする殖民者はまづ第一に此の蟲害の困難を除くべき方法を講ずるを必要とす、此等の害蟲に似たる者は往昔未だ人類の定着ざりし時代の北米諸州にも同じく存在せるなり、南米に於ける有害性蟻類は北米に其類を有せざることを天に謝す、野營せる薄暮の頃、殺伐なる徵發蟻軍の大部隊現はれ、左右の何れにも構はず眞直に間斷なく數間に渡りて行進せる有樣は實に物凄しと云ふの外なし、然れども不注意に其行列を踏むも只單に其脚を攻擊するのみにて何等の危害を加へず。

二月十五日午後カンポス、ノボスに到着地勢は從來通過せし所とは全く一變し、一大窪地數哩に渡り、多數の熱帶深林に被はれたる深き谷間を流れ來る小川は茲に出會し、而して川と川との間は丘狀をなし、樹木なく雜草繁茂し居れるを以て、茲に骨立てる動物を放養せり、其小山の一に四角形に建てられたる家あり、是れ牧舍なり、乳牛ありて新鮮なる牛乳を得たり、其他山羊、豚、七面鳥鷄等多し、建物は直立せる柱に椰子葺き屋根あるのみ、周圍には椰子、鳳梨等を栽培し居れり、茲に宿泊して調理所を一は前庭に他を牛小屋の傍に設けたり青き牧場の間を所々深林が縫ひ居る樣麗はし、氣溫涼しく多少蚊は居りしも蟲害なし、一見風景よろしく健康地なるが如しと雖も茲に熱病多しと聞けり、されども殖民地として開發せられたらんには、治療法も亦大に進歩するなるべし、地質學上此附近は大に興味ある所にしてヲリーベラー氏の堀出せる埋木によりて考ふる時はクレタセウス時代の者なるべし。

茲にて後衛隊長アミルカ及メロー兩中尉の吾等一行を待居れるに會し、此の勇敢にして忍耐强き兩氏と會見することを得たるを喜べり、翌朝兩氏は部下を鼓舞し行進を持續せり、剝製家ライニン氏も同行せり、午後我等は出發したるが數哩にて舍宿せり、牛車はカンポスノボスに殘し今は一行中には只馱隊を有せるのみ。此の附近に於て博物學者は新らしき鳥を採集せり、就中珍らしきは小鳥大の鶯なり、顏は無毛にして黑赤の嘴を有せり、灰色の鳥にして音色は鑛性を有せる似而非なる鈴鳥も面白し、燙らしき尾を有せる啄木鳥其他嘴の少しく曲れる奇形のハチスバメ、マナキン、ピレオ等珍なる者なり、ミラー氏は麗しきクイナを、ケルミット氏は七面鳥大のクラツソ！（南米產の獵鳥）を打てり皮は剝製にて肉は庖厨にまわされ例のカンジヤとして一行に稱賛せられたり、此邊りは博物學者未踏の地のことゝて短時間に種々の新らしき者を獲たり

●勞働天國の建設　(上)

ミナス、マツタ耕地　丸切屋主人

今更自分が喋々の要はない、ブラジルに於て、何よりも結構なは生活の安易であります。

やれ人間の生存權の公平な獲得、やれ民衆の文化的機會の均等、勞働問題だ、俸給衣食者の救濟だと、日本內地では八釜敷事である、我等伯內地では問題が滑稽のやうな齒痒い樣な問題が、學者や思想家に依つて大眞面目に論議されつゝある、そして一方では實行的に團體の結合が成り當局に之が解決を迫つて居る有樣である、我等のやうな百姓の單純な頭には、狹い窮屈な所で生存權の奪ひ合をせずとも、斯んな廣いブラジルに來れば、たゞ働きさへすれば日本內地以上の生活が出來るのだと、勞働者達の運動が馬鹿々々しく、同時にそれにやりこめられる當局者の頭痛鉢卷が可笑しい程であります。

その道の博士の意見では、斯くの如き勞働問題の起る當然の理由として昔の貧乏人と現今の貧乏人とを比較し、昔の貧乏人なら各人が少しの資金を有し、各自の能力と勞働の加工に依つて、如何なる貧乏人でも金持になれた、併し現代の貧乏人（勞働者）は、たとひ能力はあり少々の資金はあつても、一度勞働者になれば生涯浮ぶ瀨がないのみならず、子孫の代まで勞働者の階級を脫する事は出來ない、それは資本家と云ふ者が懷手して、勞働者の能力から生れた加工品の過半の利益を利し、僅かの手間賃位を勞働者に與ふるに依り、彼等はその手間賃だけで生活を餘儀なくされ、餘裕を得る事が不可能だから、遂に生涯この貧乏人と云ふ固定的階級より脫し得ないのだと云ふ意見の當否は別として、顧みて自分達の勞働所得はどうです、山を拓いて米を蒔く、能く働いて澤山植ゑ、草を生さぬものは多くの收穫があり、バカブンドは草に委せて收穫が少ない。資本家は不公平な分配を與へるかも知れぬが、大自然の分配は公平であります。

それに誰れが我等の勞働を奪ひ生活を脅かす者が此國に居るか、勞働者不足は當國の資本家を泣かせ、產業不振はこの國の政府を惱まして居ります。この國では我等は少々の資本と、眞面目な勞働と、生產に對する加工按配さへ辨せば、現代の所謂世界の勞働階級のやうに、一生浮ばれない貧乏階級に苦しむ事は決してありません、こゝに我等の希望があります。我等が母國から兄弟知己を呼ばんとするは、畢竟此幸福を頒ち、共に希望と恩惠に浴せんが爲めであります、併しこの恩惠を獲得し希望を實現するまでには、我等はそれに伴ふ辛酸苦痛を否定する事は出來ません。

●同胞對注意

ビリダイ　小川渉

近頃當地方に於ける同胞の行動に關し、外人の非難を耳にすること日に益々多く、斯くては極めて輕微なる事柄にても積むの久しきに於ては排日の發芽することなきにしも非ずと思惟すべければ、茲に憂慮の餘り甚だ差出がましけれど、左の事項同胞諸君心得の爲め陳ずることに致したれば、雅量ある諸君の衷心より出でたる此老婆心を容れ、假令小事と雖も之を再び繰返へさざる樣注意あらんことを切望す。

一、町に出で來る時は可成衣服を更められたし、猶ほ同胞集合の地と雖も日本着の儘街道を徘徊せられざる事

一、食事、特に外人と同食の場合にはソバ〳〵、カフエー、茶等を吸ふにツル〳〵音をさせたり、又他の食物と雖もグチヤ〳〵音させ或は食器をガチヤ〳〵させられざる樣注意ありたき事

一、住宅を淸潔にすべきは勿論、浴場の如きは街道より見へざる所へ建られたき事

一、勉めて外人と交際し其行動は常に正々堂々たるべく、個人の行動が又直ちに國家に及ぼすものなることを御忘れなき事

一、同胞間の風紀を愼まれたき事

一、强烈なる酒類、持にピンガを過飲せざる事

記者曰く、小川醫師より廣告として右掲載方依賴されたるも、此の五箇の注意は本紙の特に云はんとする所のものなるを以て、特別寄書として茲に之を掲載することにせり

著作地提供

一、位置　ソロカバナ線バルエリイ驛より一キロメートル
一、面積　八十アルケーレス
一、借地料　初年は無料、二年目より一アルケールに對し一百五十ミルレースにてセルカ用アラメは地主負擔とす
一、契約　第二年目に小作者の希望により契約す
一、運搬　鐵道便又は聖市郊外ビニエーロ市場にも便なり
日本人諸君の爲め特に便宜を計り確實なる者には種蕃、肥料及び食糧を貸與す、小面積なれば御希望の方は至急申込まれたし

José Augusto Camargo
Est. Barreiro, L. Sorocabana

日本文にて御照會の御方は
酒井一男宛
K. Sakai
Villa Cotia, Est. Cotia
L. Sorocabana

土地肥沃にて水害絕無なる
米作地
米作コロノ募集
並に獨身者年極カマラダ募集仕着衣食付七百ミルレース乃至一コント給與

◆契約年限……三ケ年とす
◆歩合……第一年目と二年一日は割第三年目は三割とす
◆資金支給……一域に付八百ミルレースを貸與す
◆食料貸與……一エンシヤーダに對し月二十五ミルレース貸與す

土地の制限あれば至急申込みあれ猶詳細は左記の所へ問合視察來談を願ふ

大正十年二月
クラビンニヨス驛
ダスフローレス耕地
米作地主任
山中信一
Faz. das Flores Est. Cravinhos
L. Mogyana

ガルサ殖民地
ノロエステ線ブレシデンテアルベス驛
ピラポジニヨ殖民地
ソロカバナ線サントアナシタシオ驛

申込者續々これあり候地價の値上げにならぬうちに御希望の方は御申込願上候

明細書御希望の方は御通知次第送呈します

代理人　コスチナ土地殖民會社
矢崎節夫
Caixa Postal, 296 S. Paulo

Empreza de Terra e Colonização
Costina
Dr. Labieno da Costa Machado
Rua B. Itapetininga, 13-A, S. Paulo

Montenegro Yahrmann & Co. Ltd.

Escriptorio
Rua Cidade de Toledo, 12　Caixa Postal, 220
SANTOS

Machina e Armazem
Rua General Camara, 499

精米所

本精米所の機械は獨逸製にして一日一千俵を精米し精巧能力實に聖州第一に位す
倉庫は廣大にして米十五萬袋を貯藏する事を得
精米依賴者は精米の際自ら之が監督を爲す事を得
荷馬車賃、倉敷料、保險料、袋入替賃は凡て精米賃に含まる
本店はコニエシメント又は本店倉庫預托商品に對して現金の前貸をなす
新法律は粃に對して鐵道運搬稅を課せざる故サントスにて精米する事は米作者の利益なり
御照會は日本文にて差支なし

倉庫

P. Machado & Co.
CASA BANCARIA

Albuquerque Lins

◆營業課目◆

一、日本其他諸外國宛送金
一、一般手形割引
一、預金は一口五十ミル以上御預り申し左の利息を附し小切手、通帳差上候

小口　同　同　同　同　一ケ年
一ケ月　同　同　同　同　六ケ月
一ケ月　同　同　同　同　三ケ月
當座預金　同　同　同　同　年
據置　同　同　同　同　三歩
四歩　五歩　六歩　七歩　八歩

加奈陀ローヤル銀行代理店
ノロエステ線アルブケルケ、リンス驛
マツシヤード商會

農界資料

●農家の副業(三)

◇豆腐

豆腐は豆乳にて製するもので、いはゞ豆の蛋白質のかたまりであるから、滋養分に富んだものであることは、ことさらに云ふまでもない。そして需要の多いことは如何なる地方でも、又繁華な都會でも副食物として日々用ゐられて居る。其種類も色々あり、其料理法にも種々あつて、味は淡白であるが之を嗜好せぬものはない。

其原料に供せらるゝは白大豆と苦汁とにて其用量は大豆一斗に對して苦汁は二合の割合である。

製法

白大豆を水に浸すこと夏期は七時間位冬期は十二時間位とし、水を含んで膨脹し內部には僅に少しばかりの凹陷を見る樣になりたる頃にとりあげて、石臼にかける（水を少量宛さすと作業が容易になる）其壓潰されて生ずる粥汁を受器に集め、水にてドロドロになりたる汁を釜に入れて煮る、此汁は至つて焦げつき易いから絶えずかきまはさねばならぬ。火力はやはらかにすべく、決して急に煮立てゝはならぬ、汁が煮立てば釜より溢れ、流出し易いから此際には藁稈油四五滴をたらし込むと靜かになる。そして之を尙かきまはしつゝ三十分間位煮、木棉か麻の袋（絹漉にするのもある）に入れて壓搾しつゝ汁を搾り出す、すると純白なる美しき『キメ』の細かな豆乳となる。

さて此搾りとりたる豆乳の尙溫か き間に、三度に分つて苦汁を少量づゝませ入れる、そしてよくかきませて凝固せしめた處で、豆腐箱に布を敷きて平にならし、適當な厚さに達したならば、布巾にて被ひをなし、押蓋をのせ小石を其上にのせつゝ徐に壓迫すると箱の形の通りの豆腐が出來上るのである。これが生豆腐である。次に水を盥に盛り、其中に投じて水中にて眞鍮の薄刄庖刀にて一定の形に切る。そして豆腐は常に水に入れて置く、特に夏は時々冷水をとりかへるが良い。此產量は大豆一斗より、豆腐が百二十丁出來る割合である。

夏期に於ては豆腐が酸敗し易いものであるから、成るべく新鮮な中に賣り又は食用に供し終る樣にせねばならぬ。

豆腐製造のとき、豆乳を搾りたるあとは『おから』『卯の花』など、稱して食用にも供せられ又は家畜の食料として重大なものである。尙又此際に生じた、液汁は洗濯用として至て効果のあるものである。

豆乳は之を種々に用ゐられ又豆腐も種々のものに變製せられる。それらは次に述べる通りである。

●ブラジルに於ける第二次國民

アグアビラード　松本高信

（下）

上田博士の國語と國民性といふ樣なことを今の場合此處の場所でいふのは痴か知れないが愈々歸化して伯國人になつてしまふといふなら知らず數年の後には錦を故國に飾らうとするならば誰しも日本に於けるつまり歸國後の實際を考へぬ譯にはゆかぬそりや日常の計算も理科も地理も何處も同じで變りがあつては大變だが國語文學を異にする以上自分一個の覺え書とか收支表作製とか又家庭內の會話とかには何の支障も見まいけれ共社交の上には大なる不便と損失には免れまい解り切た話しだが伯國語で端書を書たとて用は足りず又複雜して來た社交の上から座談の巧拙が齎らす利害も大なるものがあると思ふ、又前に述べた樣に國體を理解すべき歷史に於ては全々異つておる。

大和魂といつたところで東西思想の融和流通されて來た今日は眞に國體を理解した即ち自覺ある盡忠報國の心でなければ危險が多い。唯單に君には身を惜まず國には殉ぜよ、と命令的な事で無自覺に動き且動かさせ樣とするならば其處に反動的な心理作用が伴つて反つて危きものである然らば國體の深遠なる事より萬濤千波の傳統的歷史と又橫に於ける萬國の形勢狀態と我國との關係を理解せずに眞に自覺ある國家觀（といふと大きいが）が養ひ培はるゝといふ事は望まれまいと思ふ、この點からも私しは純伯國敎育は嫌だ。

それから山根さんは伯國に修身科はないが敎育といふ一括されたる敎養の中には敎育の御勅語の趣旨に添たる德的能力を附與せらるゝものであると說かれたが（私の意味の取違ひなら御叱正下さいませ）私の愚見から言へば否！と言ひたくなります何故なら宗敎といふものゝ力が殆ど先天的の樣に浸入してる外人達の子供と比較的信仰といふ樣な事に到達し難い素質を持つた子供とは自づと譯が違ふと思ふ。何が故に邦人に信仰心なきか？と反問されゝばお答へする例證も持つてゐますけれ共私は私に與へられた今までの智識と事實とを見て確と邦人が宗敎といふものに對する心理を一般的に右に述し如く然りと判斷して迷はぬものであります。だから外人の子供達には修身科といふ特別な道德的判斷を附與する項目を設けなくも宗敎の力が偉大な手を擴げて彼等に社會性個人性を育み與へてゆく然し前に言つた樣な邦人の子供にはどうしても修身科と いふ特別な德的能力を與るの科目を設くる必要があると信ずるのである まあ兎に角青書生の議論は想ふ事の半分も筆が立たぬので後先薩張り言ふ事が明瞭しないかしれないが伯國に於ける子供達の實際を見將來を想ふて是非敎養の機關を熾に起し且又是非共日本敎育を加味せる敎養を彼等に與へて欲しいものであるとしか信じ、頗る覺束なき叫びながらしか伯國に於ける先輩並に兒童の父兄等におめかんとする者である。

今も亦十二三の男の子が玉蜀黍で作つたシガールを口にくわへ悠然と紫の煙を吐いてパッシャーをなさるを見て、ハラリと眞中から分けたが惡い髮をバラリと眞中から分けたが惡いのぢやないけれ共束縛のない生活自由といふ事を履き違へて生み出される樣々の憂き事さてもうたてき事ぞ多かるである。

大正十年二月十一日稿

●故國通信を怠るな

在ビリグイ　愛隣生

在留民は出來得る限り當國の事情を通信せよ、そして斷えず通信せよと云ふ趣意は大贊成である、當國の事情を紹介すること勿論結構であるがそれよりも吾々が常に音信を絶たぬと云ふ事は家鄉に對する義務で、又それが意外な効果を齎らす場合がある。

自分は渡航以來八ケ年、一ケ月に一二回の通信を缺かした事はないが、通信を缺かさぬお蔭で思はぬ損害を免れた實例を有つて居る、それはさる頃、自分の鄉里の親達に對つて自分が突然歸國して夜行で歸る旨の電報が橫濱から屆いた、鄉里では不思議に思つた、その筈である親達はその二三日前自分の手紙を受け取つたばかりで、殊にその手紙には成功の端緒を得た事が細々と認められて居る、折角何かの端緒を得たと云ふ矢充に歸國とはと不審を打つても無理はない、するとその翌日爲替が手間取るから至急金七十圓送れとの電報が再び來た、之はどうも怪しいぞと云ふのでその儘にして置いた、若し久しく音信不通にでもして置いたらどうなつたらう、子し甘いが親の常だ、まんまとしてやられたのは目に見えて居る、海外にあるものは家鄉に對し常に自己の存在を明かにして置くべし。

之は餘計な事だが、先方から當方へ呉れる封筒に貼る當方の名を書き送る場合、餘り上手でもないのに好い加減のごまかし字を書いてやるのは甚だ不利益だ、宜敷く上手な人に書いて貰ふべし、日本でも宛名の所が下手な爲め手紙が迷子になる例は多しである。

CASA ALOISE
ALFAIATARIA
Rua Liberdade, 53
Telephone Central, 3844

開店廣告

今般上記の處に開店し日本人各位に特に廉價に新流行型男女服調製可申上候

カザ、アロイゼ

社告

左記の處に支部及び取次所がありますから購讀申込料金拂込、其他の事に就いて便宜最寄の處へ御照會を願ひます

◆モヂャナ線コンキスタ驛
コンキスタ支部　福川薩然

◆ノロエステ線エイトル、レグルー驛
レグルー支部　鈴木季造

◆同線ピリグイ驛ピリグイ土地木材殖民會社
ピリグイ支部　宮崎八郎

◆同線アルブケルケ、リンス驛
アルブケルケ、リンス支部　森部商店　森部一衛

◆海外興業會社伯國支店
リベロン、プレト出張所　坂元靖

◆ノロエステ線プレジデンテ、ペンナ驛
ペンナ支部　古庄常喜

◆アバラ、クワラ線カタンヅー驛
カタンヅーバ支部　小林弘一郎

◆サントス市ラルゴ、セテ、デセテンブロ一五番成功館
サントス支部　古謝將義

◆ソロカバナ線セルケラ、セザル驛
セルケラセーザル支部　岡島仁郎

伯刺西爾時報社

分益契約

リオクラロ市より三キロメートル珈琲耕地として最優良の場所に於て珈琲栽培コロノ八家族を募集す、各家族は別々に耕主と契約し所得利益は總て耕主と折半すべし

御希望の方は至急左記へ御申込あれ

林岩松
Rua Conde de Sarzedas, 51
S. Paulo

廣告

有所感爾今禁酒　田實武二
Rua Manoel da Nobrega, 85

綺麗で、迅速で、丁寧で有名な
石村洋服洗濯所
電話セントラル參貳參四
Rua dos Lavapés No. 236

業開職治鍛廣告

私儀鄉里にて鍛冶職營業大正二年渡伯後サントス港ドック會社工場に滿五ケ年勤續の處今般左記に獨立鍛冶職を開業誠實を旨とし農具其他一切の器具製作可仕候間何卒御用命の程願上候

サントス港　平田初太郎
H. Hirata
Rua Carvalho Mendonça, 425
SANTOS

FUJISAKI & COMP.

日本品各種

東京本店　赤坂區溜池町卅三
本店　リオ、デ、ジヤネイロ
支店　ペルナンブーコ

藤崎商會

サン、パウロ支店
Rua S. Bento No. 68-A
Tel. Cent. 2788—Caixa, 344
S. PAULO

告弊社貸付移民各位

弊社は今般都合に依り伯國に於ける弊社貸付金取立事務一切を海外興業株式會社に一任仕候に付ては自今借受金其他の拂込に付ては左記同社伯國支店に弊社借受金勘定として御拂込相成度此段謹告仕候

因に　御都合により東京弊本社清算事務所に直接御送金相成候ても差支無之候

大正十年三月

宛名　Kaigai Kogyo Kaisha
Rua Tamandaré No. 127
Caixa Postal, 1082
S. PAULO

森岡移民株式合資會社
清算事務所
東京市麹町區永樂町一ノ一

伯國醬油製造界元祖

神

印最上醬油

サントス港
釀造元　神田榮太郎

Caixa Postal, 282
SANTOS

●滅び行く青春の惱み（上）

北斗星

身體も心もすつかり疲れ切つた彼れは、その遣瀨ない惱みと苦みを抱いて、力なく半里も離れた彼女の家に行くのが、日曜日の行事であるかのやうに、雨の降る日も風の吹き荒ぶ日もそれを續けた。それは彼が曾て經驗した事のない、異性に對する未知の世界へ行く道程から――焦悴や嫉妬などから――來る悲哀と、彼の虛僞と暗鬪と形式とで作られた世の中へ、初心で正直で小膽で且つ敏感で虛弱である彼が單身入り込んで、求めるものは與へられず、欲せざるものを與へらるゝ苦みを、彼女に依つて幾分の慰安を求め得らるゝやうな望みからであつた。また野の人などの語る美しく樂しい、そして互に理解し合つた理想の戀をも味ひたい望みから……。

彼は異性に對し餘りに理智的であつた、希望が大きかつた、理想が高過ぎて居た。世間到る所で演出されてる虛僞と暗鬪との間に、彼は餘りに正直であり初心で小膽であつた、彼はそれが爲めに常に世間から離れ勝ちであつたし、彼自身も亦その暗い影を有つた世間と融和する事を恐れ寧ろそれを避けやうとした。併し彼の境遇と彼の心の底にこびり附いてる世間への執着が、やはり彼を世間と共に生きて行かねばならなくした。

彼は女の家へ行く途すがら、農夫達が暢氣に鼻唄を歌ひ乍ら、畑の手入れをして居るのを見た、頑丈な身體こぶ〳〵の出た腕、赤銅色に燒けた顏、それは彼等が世間の何物にも抵抗して恐れないことを思はせた、同時に彼は自分の青白い面と貧弱な細い身體とを顧み、そこにも世間と共に勇敢に生きて行くそれらの人々との對照があり〳〵と見える樣な氣がした。

また野に働く人達の何の苦痛も悲哀もなく、泣きたい時は人目もなく思ふがまゝに泣き、笑ひたい時には大口を開いて自由に笑ひ、怒りたい時には腹が立つまゝに眞赤になつて怒る樣な、單純な心を有つて居ゝ、さう云ふ人達の生活を羨んだ。そしてさう云ふ人達の通つて來る道筋などを考へて見たりした。

彼等も矢張り異性を戀して來たであらう、併し彼等は只豐かな肉に滿足したではあるまいか、子を產む妻を有つて滿足したではあるまいか、畑から歸つて一日の疲勞を癒すため、一家團欒の中に晩饗の酌をする、妻の笑顏で滿足したではあるまいか、彼等の斯う云ふ單純な欲求は容易に與へられた、彼等は盲目的に無意識に異性を得て、大した悲哀も大した苦痛もなく渡つて來て居るらしく思はれた。

彼は彼女の家の前に停み、バナナの茂り合つた隙間を透して、半ば開かれた窓に近く、彼女の針仕事をして居る半身が、夕日を受けて浮んで居るのをぢつと見つゝ、吸ひつけられる樣に彼女の前に立つのが常であつた。そして彼女の熱情に燃える瞳が男の心の何ものをも鎔かさでは置かないと云ふやうに輝くのを見た、此の世の凡てが彼女に依つて與へられる、彼はそれを期待し信じて居た。

小說　女禮者（九）

上司小劍

お加代は良人の豪酒をば、却つて身の譽れの如くに思つて、それが爲めに受ける家計上の不如意などには頓着しなかつた。こんなところもこの夫婦は餘ほど世間並みとは變つてゐた。

『お前んとこの人みたいに、しん、しんねり、むつゝりしてゐて、お酒一杯飲まないやうなのは、一所に居ても、嘸面白くないだらうね。』とよくそんなことをお加代は春子に言つた。

さう言はれて見ると春子も、お酒の一つも飲んで陽氣に唄なんぞうたふ人の方が、良人として面白いかも知れないなぞと、考へることもあつたけれども、姑の家へ行つて大尉が何時までもぴちや〳〵と酒に親しんでゐるのを見ると、飲酒家の五月蠅さが染染と考へられて、奈良漬にも醉ひさうな自分の良人が尊く有難いものと信ぜられた。

『マサキキウビヤウシス』といふ電報は、蒼空に雷が鳴つたよりも、なほ一層春子夫婦を驚かした、折柄風邪ごゝちで朝から床に入つたまゝであつた良人を促し、春子がともく〳〵に姑の家へ駈け付けると、大尉は學校へ出勤しようと軍服を着けて玄關へ出た時、突然卒倒して、其のまゝ事切れたのだとのこと。其の軍服姿のまゝで、唯一つの勳章をも佩びさせず、床の間の前に寢さしてあるのに向ひつゝ、拜禮をした時は、『あのまあ百歲までも生きさうな元氣一杯の人が、何うしてこんなになつたか。』と、春子夫婦は悲しいといふよりも、寧ろ不思議だと言ひたいくらゐであつた。

『あたしね、初めは戲談だと思つて打ちやらかしといたんだよ……』と流石に娘時分から男勝りと言はれてゐたゞけに、お加代は少しも取り亂した樣子がなく、涙一滴溢さずに言つた。十七になつた一人息子の勝一が父の酒毒を受けてか、兎角腦がわるくて、學校も落第ばかりしてゐるのが、ぼんやりと呆れたやうな風をして、其の側に立つてゐるのも哀れであつた。

よくそんな惡戲をしさうな人であつた。何日かも勝一と二人で散歩に出た時、少し頭のわるい勝ちやんを先きへ歸へらして『お父さんが彼處の踏切で汽車に轢かれて死んだ』と言はせた。

時報歌壇

●詩四草

ソロカバナ　橋山訓

◇私

總ての假裝を擾き亂して
私を赤裸々にする
自然の一觸
そは
何よりも恐ろしい。
赤裸々を求めぬ私なればこそ
マスカラードの
夜はうれしい
空寂と暗黑
そは
何よりも樂しい。

◇現實の悲哀

呪はしい人の心よ
咯血して
臨終にあえぐ
薄暗き喪の室に
歌うたふ聲
現實の冷い風となつて響く
呪はしい人の心よ
愁傷と孤寂
闇黑の室にゆらぐ
蠟燭の光りは
Immoralist の形して
わが眼に踊り入る。

私は――
現實の社會と人をうらみ
憎惡と不滿とを感じながらも
なを
執着は社會にあり
愛着は人間にあり
あゝくるはしい私の心は――

◇小さい窓から

私の小さい窓から
褐色の唐黍畑を
黃金色の稻畑を
そうして更に
高原を掩ふ白い雲を見るとき
パーストを越へ來る風を聽くとき
私は
小窓から見える
空と自然とを
獨占した心になる
小さな窓の
自然と空――

◇月光

蒼白い月の光りは
もの寂しい
その光を浴びて
啜り泣く
吾はひとり
あゝ唯吾獨り

聖市コンデ街五十三
電話セントラル五八一九
廣島屋旅館
Rua Conde de Sarzedas, 53
Telephone Central, 5819

旅館
和洋御料理一切
ボニータ街一一番
上地彌藏
郵函　一二二五
電話セントラル五七〇一

旅館
エスタソン
ソロカバナ前通り
東京館
電話シダーデ一四七六
Rua Mauá, 199
S. Paulo

コロノ募集
ミナス州リオグランデ沿岸水質良好健康地にして土地肥沃米作、甘蔗、ミリョ、マンヂオカ其他一般作物に最好適地を歩合作にて契約す七百アルケーレスの平地水害絶無機械播付の上機械にて除草し目下機械甘有餘臺使用しつゝあり收穫物販賣は自由、自動車にて運搬す一農年間金員及諸物品貸付す兒童就學無料敎授現在兒童卅名あり視察者はモヂアナ線カニンデ驛よりの片道自動車賃金支給す
メランシア耕地　佐藤半三郎
照會は總て人事部主任野見山秀雄宛
H. Nomiyama
Fuz. José Junqueira
Est. Uberaba-Minas

Garage Normal
Tel. Cidade, 56
Praça da Republica No. 43
業務懇切丁寧
同胞諸君の御愛顧を乞ふ
貸自動車業
電話シダーデ五六
ブラサ、ダ、レプブリカ四三
中村末熊
林岩松

R. MAEKAWA
Commições, Consignações e Conta Propria
Rua Carvalho Mendonça, 425
SANTOS
仲買商
拜啓各位益々御清昌奉賀候陳者拙者事都合上上記の處に移轉仕り今後單獨にて營業仕り候間何卒倍舊の御引立の程伏して願上候
◇課目
一、農產物一切の買入
一、モエンダ、農具金物類、サツコ、ピンガ樽食料品、香水、石鹼其の他色々卸販賣
尙御希望に依り倉庫を無料にて御貸申候
サントス港　前川力之助
ルア、カルヴァリョ、メンドンサ四二五

土地賣却
Heitor Legrú は外人間に一名「新日本」と稱せらるゝに至つて居る
今回賣り出す土地は停車場の前面から遠きも二キロメートルスを出でない極めて豐沃な地續である
市街地向きの牧場によく果樹園によく小農業者に取つて此れ以上の好適地は他にないことを斷言しても差支ない私共と志を同うして「ノロエステ」に新日本を建設せんとする同胞諸君は一目も早く視察せられんことを望む
イタコロミー殖民事務所
Estação Heitor Legrú
Linha Noroeste
上塚周平
鈴木貞次郎
坂本留次郎
間崎三郎
日本貿易株式會社
聖市出張所
Rua Quintino Bocayuva, 80
Caixa, 1714 Tel. Cent. 3449
São Paulo
リオ支店
Rua Candelaria, 90
Caixa Postal, 1246
Rio de Janeiro

日本近信

●水野大佐の待命が產んだ 海軍部內の新渦流

新舊思想の衝突はこゝにも亦露骨に現はれ初めた

水野大佐の待命問題につき少壯海軍武官と老朽舊思想家との衝突は愈々▲露骨になり海軍部內にてはよるとさわると今や此の話でもち切つて居る當局某大官は曰く『水野大佐は其の著『此の一戰』以來俄に文名を謳歌されたる人なるが著作物に依りて聲明を博する事必ずしも武官として豪い譯ではあるまい水野大佐が帝國の武官として將來を有する人なるや否やは頗る疑問とせらる所で此度の事あるは蓋し▲自然の歸着點なりと見るのが適當だらうと』處が水野大佐の平常に於ける諸般の主義主張が少壯將校連に非常に驩迎せられ其の影響として中には軍人の平常廢劍論を稱へ現今の佩刀は單に指揮刀にして古武士の名譽としたる天下の名刀とは大に其の精神を異にす特に短劍の如きは殆ど無くてもがなのものにして無くても可なの物を帶ぶるが故に日本は軍國主義なりとのそしりを▲受くるは愚の骨頂なりと論じ或は又金ピカ服廢止論を唱へ當今はモーニングを以てフロックコートに代用され脊廣を以てモーニングに代用せらるゝ時代なるにも拘らず單に軍人のみが依然として特種部落的恰も廣告屋然たる金ピカ軍裝に佩劍勳肩章燦然たるは寧ろ抱腹絕倒なる時代錯誤も甚だしきものなりと論ずるものあるを生ずるに至つた斯かる事情に依り多くの少壯將校連に人氣高い水野大佐は▲時勢に無頓着な所謂閣下連の舊思想に容れらるべくもあらず遂に此度の待命となりたる譯で而も此事件に關しては少壯連の間に大分不平の聲が喧ましい

●石川舜台師復籍

東本願寺は曩に石川舜台師に對し宗規に觸れた廉で僧籍を剝奪した世人周知の事であるが同師は爾來直接間接に宗門に盡瘁し且今年八十歲の高齡に達したので東本願寺管正局では僧籍に復し僧正の僧位を與へた

●大本教大騷擾

人間心理の弱點に乘じて愚民を惑はせ延いては社會の安寧秩序を紊亂する淫祠として日本の一社會問題と見做され居りし大本教の京都府下綾部の本山は果然二百五十餘名の警官に捜索されたる結果無數の骸骨及腐敗して臭氣紛々たる屍體を隱蔽し居たる事發覺したり

▲四警官即死信徒多數・同本山にて警官が數手に分れて捜索を開始するや宗教狂及無賴漢多數を集めて官憲の發動を妨碍せんとせる爲め茲に端なくも一場の修羅場を生じ警官四名は斬殺せられ多數負傷し大本教本山側の者も多數の即死者負傷者を出したり

▲本山の幹部一網打盡

其間警官等は甚だしき危險を冒して同本山幹部を悉く引致して嚴重なる護衛の下に收監せるが公務執行妨害罪、騷擾罪、死體遺棄罪及び殺人罪等の數罪俱發を以て論せらるべし尙日を逐ふて多くの餘罪發覺すべき見込にて事件は益擴大すべき形勢なり

▲三十萬全國信徒憤激

此報全國に傳はるやさなきだに異常に熱烈なる信徒は大に憤激して種々の防衛策を講じ或者は『信教自由』の憲法明文に據つて最後迄爭はんと主張し居れり兎角近來稀に見る事件なるを以て一般民間も少からず驚愕し事件發展の經路を注視し居れり

●人手に罪の子を渡して 再緣か將た尼か

大審院の最後の公判も一月二十四日に終つて生か死か今は其判決を待つ外無い、鈴木辨藏殺しの山田憲及び妻のつぎ子、長女みち子等三人の近狀を聞くにいづれは離れ〳〵に運命づけられた不幸と哀話に充されてゐる憲は

▲二審の判決で犯罪動機が奸商を憎むにあるを認められ爾來心中稍安靜を得たものゝやうで入獄當時とは打て代つた健康體となり朝夕佛敎書籍のみを耽讀し係辯護士達が面會に來ても犯罪に關する話は自ら避けてゐる一方憲の入獄以來沼津の實家漆間家に引取られてゐる妻のつぎ子は一昨年十二月五日

▲みち子を分娩した憲の友人小川辯護士や今井法學士達は野口男三郎の遺兒が世間から迫害を受けた實例に鑑み漆間家の子として育て上げるやうに交渉を始めたが漆間家では『犯罪者の子は育てることは出來ぬ又つぎ子の私生兒とすることも家名を汚す』との理由で終に拒絕されたそこで止むなく獄中の憲に相談した所憲は『確に自分の子に相違ない漆間家から所望されてもみち子は

▲遣る譯には行かぬ』と主張した結局何れともつかず憲の最後の判決が言渡される迄漆間家で育てることに折合つてみち子は今沼津でつぎ子の手に育てられてゐるが遠からず判決の下り次第温かいつぎ子の手からもぎ放されて新潟なる憲の實家へ送らることゝなるであらう此の不幸兒の母つぎ子は先頃迄憲に

▲愛着の色を見せてゐたが昨今では殆ど憲を忘れたものゝやうに差入物は勿論手紙一つ寄越さない憲の友人達は『親達の壓迫でつぎ子の憲に對する態度が變つて來た』といつて居る淺い夫婦の契りに罪の良人の情を恨みつゝ再緣するか生みの子を他手に渡して綠の黑髮をふつつりとうら若い尼となるか、つぎ子にとつてはこの二つの中孰れかを選むの外はあるまいかたか

●光彈空中演習

明野ヶ原にての此企ては實戰の如き偉觀あらんと

伊勢明野ヶ原なる陸軍航空學校射擊班の空中射擊演習は愈々來る十日より擧行せられスタット式二百二十馬力及びニューコール式十五平方米突の小型戰鬪機を

▲使用して機相互の空中角逐に必要なる空中射擊を實地に研究を行はんとするものなるが、從來は射擊班にては甲種學生に對して敎習せし方法は機の後尾に吹流しを結びつけて追擊せしものなりしも今回は兩機に機關銃を積載し光彈を籠めて發射、彈路觀測、命中程度の成績を實地に試驗すべしと云へば恰も空中實戰に等しき

▲偉觀を呈すべし此演習の參加將校は曩に佛國敎團中の名射手として知られたるベルダン少尉の敎導を受けたる赤羽射擊班長を始め敎官たる瘢現在の三倍の閱覽者を收容することにする筈だと云ふ

三中尉、其他有川校長、島內研究、川田敎育兩部長、以下、所澤各務ケ原、下志津の敎官連多數に參加觀戰する筈なり、而して右實驗の結果は次期甲種學生にも

▲練習さすべく目下所澤に於ては高速機の操縱練習中にて第一期甲種學生は三月下旬より新射擊法に依る敎育を授け今後の戰術に新期を畫さんと企てつゝあり

●住友男の寄附

……大阪府へ九十萬圓

大阪市には圖書館の設備がなく僅に住友男の寄附により二百人を容るゝに足る府立圖書館が中の嶋公園にあるに過ぎないので市では今回六箇所に市立簡易圖書館を設立するに決したが住友男爵は中の島の府立圖書館を擴張するの要ありとて更に九十萬圓の寄附を申込んだので大阪府では現在の三倍の閱覽者を收容することにする筈であれば來る七月の候吉辰をお選みになるであらうと

●御着帶は七月

方子女王殿下

御身重にならせられた李王世子妃方子殿下には皇族方の御慣例により其御着帶式は九ケ月目を以て擧げさせらる筈であれば來る七月の候吉辰を

●毒瓦斯研究忌避

◇殺戮的武器の研究は學者の快とせざる處◇

歐洲大戰中交戰國間に辛辣なる武器の使用された事は夥しいものであつたが就中戰鬪參加部隊に非常な損害を加へたものは

▲獨逸が　卒先使用した毒瓦斯であつた、各國軍事當局は將來の戰鬪に於て此毒瓦斯の及ぼす影響の甚大であるべきを認めて夫々秘密に研究し吾人は創造の仕事に當るもので破壞の使命には當らない、藥學者は戰鬪員ではない學殖を破壞に曲用せよと要求せらるれば吾人は拒絕するのみである科學者は

▲結束して國際聯盟をして毒瓦斯の使用を禁止せしめなければならない、吾人が最も有効な毒瓦斯を作れば讎て自分自らを毒する事にならう』と然し此宣傳には反對者も多く陸軍技術監ピンドン少將は軍事的見地から列國陸軍の毒瓦斯研究を指摘し化學的兵備は空中防備と同じく今後軍事には絕對的必要であると叫んでゐる

▲毒瓦斯の完成を强得る理由ありやの二箇條を檄し更に曰く『大學は

▲毒瓦斯　を作るよりはもつと良きものを作り得る筈である少くも吾人の實驗室は政府の斯る計畫を幇助するよりは、猶有意義である筈である

(一)科學者は斯る殺戮的武器の研究をして道德的に容認せらるゝ者か

(二)政府は獨立する大學に斯る發明

Salus

聖市
キタンダ街十番
ブロンベルグ商會

ホツゲングル博士發明サルス印家庭衛生用品
一、自然的殺菌力を有するモリンガ、水瓶、フイルトロ
一、家畜の諸病を癒す妙藥プラテオル (Pratool)
一、フエリダに特効あるシリカルゴル (Silicargol)
一、强壯劑として奇効あるブロザルゼル (Bulozargel)
一、トラホーム退治藥コリリオ (Collyrio)
右の外脫脂綿、ガーゼ其他醫療用品一切を發賣します(說明書進呈す)

BROMBERG & CIA.
Rua Quitanda No. 10
Caixa Postal, 756, S. PAULO

大至急募集
一、四ケ年珈琲植付契約　拾萬本
二、ホルマ、パスト請負契約　九拾アルケール
三、貸地　五拾アルケールス
○場所アラ、クアラ線カタンヅーバ驛ボアソルテ殖民地附近及イタヂウベー町附近詳細は日曜日午前九時半迄に來訪せらる可し(尙ほ詳細書は申込次第送附す)
○視察希望者は三月廿六日午前九時迄に小生宅に參集せられ度し
○契約は三月廿七日にして保證金は一アルケールに對し百五十ミルレースとす但し四年契約者には入地後返金す
アラ、クアラ線カタンヅーバ驛ボアソルテ殖民地
インヂニエロ
小林弘一郎
Caixa Postal, 2 Est. Catanduva
○高價なるアレンダメント及歩合作はマンチメント下落の今日に適せず

Casa Camarero
(Antiga Casa Crippa)
Caixa, 25 RIO PRETO Tel. 101
廣告
各位益々御清穆奉賀候陳者本店業務擴張左の通り營業仕候間倍舊の御引立伏而願上候
尙日本人各位には特に三割引可仕候
一、雜貨一切　一、雜穀一切
一、高等ホテル　一、雜穀仲買
日本人諸君の爲めに特別に總ての御便利を圖り可申候

洋服、反物類一切、小間物
雜貨、食料品並日本品各種
森部一衛商店
倉庫業並に客荷馬車業
ノロエステ線アルブケルケリンス

●東京御發輿前の皇太子殿下

皇太子裕仁親王殿下には既に御渡歐艦『香取』に召され供奉艦『鹿島』の途に上られ目下御航海中の由は前号の本紙に報道した通りであるが、尚ほ殿下東京御發輿前宮内省の發表せる所に依れば『皇太子殿下御渡歐に關しては曩に宮内省から外務省を經て林駐英大使に英國皇室の御都合を伺ひ奉つた所、御渡英御差支なき旨の御返電に接したので、殿下には愈々三月三日東京御發輿横濱から軍艦『香取』に御直航のことに決定した、御着英は四月下旬で其後の御行動は御着英以後御治定相成る筈である、御日程は約半ケ年間、御渡歐の御目的は御見學にあるので、必要の場合の外總て御微行で、元帥閑院宮載仁親王殿下に御隨行、珍田樞密顧問官其他供奉に内定せり』と

●智利大統領は來伯見合せ

智利大統領の伯國來訪に就ては目下同國内政に至急解決を要すべき問題あり到底大統領の外遊を許さゞる爲中止となり其名代として外務大臣デマッテ氏本月下旬智利發來伯する事となりし由外務省に電報ありたり、右は四年前時の伯國外務大臣ラウロ、ミューレル氏の智利往訪に對する答禮にして外務次官も同伴すべく歸途にはウルグワイ、アルゼンチンをも訪問する豫定なりと

●高等師範新設

聖州政府に於ては師範學校出身の若き教育家をして尚進んで研究勉學せしむるため高等師範學校を聖市に新設する事に決し來年二月より開校の豫定にて校舎は現聖市師範學校を增築して當分之を使用する事となれり同校の科目は哲學、史學、文學、理學等にして之が主任教授は外國より招聘すべく心理學教授としては瑞西の大家クラパレド博士に交渉其承諾を得たるが社會學講座には佛國に目下交渉中の由なり

●商工銀行新頭取

聖市の商工銀行は廿九日株主總會を開きアントニオ、ブラード氏老齢の故を以て辭職のため其補缺として取締役一人選擧の處州上院議員パヅアサレス氏當選し同氏は直ちに就任を承諾したり尚サレス氏は追て重役互選の手續を經て同所頭取となる打合せなりと

●前州統領の辯護士開業

前州統領アルチノ、アランテス氏は退職判事レイス氏及聖州法律學校教授サンバイオ氏と共同にて市内ラルゴダセー三番(總領事館と同建物)に法律事務所を設けたり

●リオ紐育間十三日

米國の南米東海岸航路ムンソン線に對しては開業當時種々の非難があつたけれども汽船の變更其他各方面の改良漸く實現せられたゝめ近來は大に其面目を改め三月十四日リオを出帆した『アエオルス』號の如きは十二日二十三時と五十四分間即ち十三晝夜で紐育に入港しリオ紐育間航海の最速記錄を作つた、此の線に積み込まれた郵便物は連絡の具合が旨く行けば三十五日目位に日本に着く事になる

●水野龍氏の其後

水野龍氏は昨年末歸國後ミナス起業聖州内地自作農業者に對する金融機關設立及び南聖海岸地方の植民發展に關し積極的經營案を立て之が實行を海外興業會社に建議されたと云ふことである

水野氏案を實行するには海外興業會社株金全部(七百二十萬圓)の拂込を必要とするから會社に於ても大に慎重考慮中の由であるが同會社本店專務取締役龍江義信氏が當地青柳重役と相談の爲め近日東京出帆當地へ來らるゝと云ふも實は水野氏の右建議が與かつて力ありと云ふこと

尚ほ水野氏は伯國旅行中氏の家内に不幸あり旁々當分靜養も爲たしとて海外興業會社の取締役を辭し今は全く閑散の地位に身を置いて居ると云ふことである

●練習艦隊歡迎團の會計報告と紀念品

清四郎氏は業務多忙にも拘はらず極めて精細なる報告書を作成せられ更に之を委員會議に附し普通一般に分り易き形式の下に本日兩邦字新聞に發表されたるが尚ほ紀念品に就ては特別委員を設け印刷所と目下交渉中の由なれば愈々美麗なる印刷物として寄附者諸氏の手許に廻るは來る五月なるべしと云ふ

四千以上の口數に上れる練習艦隊歡迎團取扱ひ寄附金及び練習艦隊歡迎費支出整理に關しては會計主任熊坂

東京電報(三月廿一日)

●東京大火後報(上海發電)

東京よりの電報に依れば同市西北部に起りし大火は約一千戸を燒き拂ひ其中に三箇の病院、多數の銀行商館等あり、五千の罹災民宿るに家なし

●伯國視察に來られた大島理事と藪内練習生

海外植民教育會理事大島喜一氏及び海外植民學校第一回卒業生にして農商務省海外實地練習生藪内春一氏はブエノスアイレスより海路サントスに渡り去月廿八日來聖されたが、大島理事來聖の目的は植民教育上南米殊に伯國を視るの必要ありとて豫てブエノス滯在の藪内氏同道來伯されたので視察期間を約四ケ月とし其の間聖州を主とし隣州邦人の發展地をも隈なく視察せらるゝ筈である、尚ほ當市滯在中は邦人と接觸するの都合上リベルダーデ街のペンソンモンテイロに宿泊せらるゝことになつた

●壯年組の野球熱

一方新進チャキ〳〵のミカド倶樂部のミカド先攻、盛に打ち盛に同球を利用して總ての作物に適する壯年組笹原御大氣を紛めども田中の醉拂ひ球大に効を奏せず第一回にしこたましてやらる十五年目に球を握るでがすと云ふ伯父さん達また顚倒へり乍ら奮鬪矢鱈に努めたが何時も先を越されて容易に取返へしが附かず、トゞ若い衆に花を持たせてやらにやなアと捨臺詞宜しく時間都合で六回ゲーム、十八對十一の壯年組べた敗けで打切つたり尚明後三日(日曜)には顚倒へつても負けぬ氣の壯年組が申込で復讐戰があると云ふ

デ下赤土ケ原で擧行、何がさて久し振りの仕合とあつたが見物も野次も何時も乍ら勝いのは是非もなし、ミ

ド庄川隈田穂橋田口内溝カ谷松上明大津田竹横ミ長

PCSS-123RCL

組中原藤谷本上中藤島年田笹齋松宮村田遠中壯

□□人事來往□□

▲隈部三郎氏　リオの隈部三郎氏聖州海岸地方視察のため廿五日來聖廿九日朝サントスへ下りジュキア線よりイグアペ植民地を視察せらるゝ由

▲古關富彌氏　公務を帶びて滯聖中の同氏は廿七日パウルへ歸る

▲福川薩然氏　滯聖中の同氏は廿八日夜行にてコンキスタへ歸る

▲上塚周平氏　久しぶりにイタコロミーより三十日出聖上地旅館に止宿

謹告

拜啓　益々御清祥奉大賀候偖て練習艦隊歡迎團各位に對し記念品として磐手、淺間兩艦の雄姿、司令官舟越中將及兩艦長の肖像、司令官の揮毫、歡迎の盛況等を收めたる寫眞帖又は繪葉書を作成し贈呈致度目下準備中に有之候が寄附金御送付當時と現時の御住所と御變更の向も可有之と被存候間御變更の方は來る四月盡日迄に左記宛御通知被下度候夫れ迄御通報に接せざる向は寄附金收納時の御住所へ發送可仕候右豫告仕候也

大正十年四月一日

練習艦隊歡迎團委員

練習艦隊歡迎團委員御中

各位御中

左記

練習艦隊歡迎團委員御中

Caixa Postal, 1082

S. Paulo

VENDEM-SE terras superiores para cultura de Gafe' e cereaes.

TRATA-SE na rua Direita No. 7, 5° andar, sala 57, com

Dr. Athayde Andrade e Shizuo Hayashida

Engenhiro Civil

土地賣却

一、位置、ノロエステ線プレシデンテアルベス及ヂャクチンガ兩驛に近接し未成線バウリスタ延長線は本地六基米突の距離を通過しガルサ殖民地に隣りサンタマリヤ耕地と稱す

二、地味、最良好肥沃にしてカフエー穀物類養豚等に最適當なり

三、地勢、海拔七百五十米突米作にはベッシ河流域の肥沃低地あり

四、地割、十アルケール以上幾百アルケールにても差支なく御申込の順に依り拙者實地に於て分割す

五、支拂、購入者諸君の御便利を計り年賦契約御隨意とす

六、土地保証、往々土地問題に對し耳にする事あれど小生儀當國に於て土木設計に四ケ年の星霜を費し土地分割賣買其他諸件實地研究の經驗を積み又本地は小生測量せし土地にて聯邦政府の許可濟なり

八、顧問、其他一般土地買收測量地劵調査の御依頼に應ず

御照會次第詳細早速御返信致候

事務所　聖市デレイタ街七番五七號室

執務時間　自午後一時至午後四時

土木技術師　林田鎭雄

●日本品各種、卸、小賣

●神田醬油卸、小賣

瀨木商店

Y. SEGUI　Caixa Postal, 1771　S. PAULO

田口洋服店

ルアコンデ四九番　電話セントラル三八三六番

ルア、コンデ、デ、サルゼーダス、七三

小作農業者集募

當殖民地はサンタアデリア驛を距る十五基米突土地肥沃なる大森林にして土地は御希望次第幾アルケールにても提供し他に比類なき低歩合にて契約す、責任者は可及的日本人諸君に最善の便宜を計り資本乏しき諸君には出來得る丈け賃與す

契約年限は三ケ年、交通は既に自動車道殖民地内を貫通し又タクワラ町に近く諸物品の賣買に至極便なり、如斯良殖民地好時機を逸するなく即時申込まれたし

事務所氏原旅館 Antiga (Kakiuti)

Thi Eiji

Caixa Postal 14

Catanduva

伊井榮次

小作人募集

一、塲所サンタデリヤ驛を去る十八基米突

(但し中間にタクワラ町を有す)

一、地味豐沃にして米作に最適當の平地

一、面積參千二百アルケール

一、借地料一アルケールに對し十七俵

一、三年契約のホルマストー

一、氣候順良にして且道路良好

右に對し契約御希望の方は葡文或は日文にて御照會次第御回答致しますに尚現地御視察の方には御同伴詳細なる御説明可致候

事務所ピンドラマ驛前ホテルセントラル

Faz. Quebradente

Caixa Postal, 82

Est. Pindorama

橋本長作

L. Araraquarense

熊本縣人村山知儀急病に罹り醫藥に手を盡せしも其効なく二月廿八日アラ、クワラ線パトン耕地に於て死去同日ピンドラマ町共同墓地に埋葬致候間此段辱知諸君へ謹告仕候

親戚朋友

父　松川武太郎

村山一二

同　鍋島寅吉

米村政市

島末松義

同　宮田直八

稲田末松

三宮馬次郎

橋本源太郎

岡本茂藏

中島喜代一

仁井與三郎

寒野雪平

山田作藏

峰横山勝一

鹿又春夫

藤原金次

三浦諭平

樋口彦藏

桂村甚之丞

石寛作

武原頼

荻田貞次

柴原徳次

松永吉郎

横田勝善

福原勝太郎

荒川健喜

新宗屋正敷

窪太郎

藤宗太郎

田中勘

阿部良

上原徳

野中豐

長女ツモ儀病氣の處藥石無効本月二十二日死亡致候間此段知人諸君へ謹告仕候

追而送葬の節は御多忙中遠路御會葬被下一々參上御禮可申上筈の處乍略儀以紙上御厚禮申上候

大正十年三月二十六日

アルケルケリンス驛

佐賀縣人

親戚

父　井上伸市

原袈裟一

藤山忠六

山口三之助

尾形好松

一ノ瀬友一

吉村恒市

友人

代

尋人

高知縣高岡郡浦ノ内村

藤川之助

右の現住所御存知の方は左記へ御一報願上候

岡本龍太郎

Rua dos Estudantes, 81　S. Paulo

1 de Abril de 1921 No. 182

Noticias do Brazil

大正十年四月一日　第百八十二號

大石内藏之助

第十回

半井桃水

淺野内匠頭に、切腹させと申されたか、何人の指圖にも致せ、庭前に於て切腹とは以ての外の違法、役目の表、見過しには相成らぬ』と傳八郎はいきまくのである。

右京太夫は困り切つたが、何うかなして推宥め、無事に濟ませたいと熱望した。

『實は座敷庭前、兩樣の圖面をもつて、大目附へ申立、お差圖を受けた次第、なれども下總守一存の義御前樣方は銘々に、御趣意申上げられたなら、別してお咎めも御座るまい』と宥め掛けた。

『正使副使と申しても、畢竟同樣のお役目、落度があれば諸共に、お咎め受るが至當で御座る、内匠頭不屈きの致方にせよ、五位の士太夫、一國一城の主として、切腹仰渡さるゝ時は、それ相當の取扱ひ致さねば相成らぬ、先刻拙者申上げた通り、追つて御吟味の上、お咎めの次第により官位召上げられ、元の又市郎と相成り、お仕置を受くる時は、庭前に於て腹切らせうと、差支へ御座らぬが、朝散太夫淺野内匠頭の儘、お仕置とあることは、等閑の取扱ひ、官位に對して成るじき儀と、拙者ごもは心得申す』と傳八郎が理詰の言葉に、右京太夫も推服し、

『誠に一々御尤も、さすれば如何計らひ申さう』と當惑至極の體に見えた。

傳八郎權右衛門は、取つて返して下總守に向ひ、

『唯今内匠頭切腹の場所、檢分致し申した處、豊料らんや庭前に出來御座る、官位召放されもせぬ者を、餘りと申せば粗略の扱ひ、速かに場所を改め申したい』

『拙者承はり屆けた上は、その儘で苦しう御座らぬ、手落とあらば拙者一人、お咎め蒙る分の事』

『副使にまかり立つた我々、惡いと知つて此の儘に致す事は相成り申さぬ』

『正使の拙者、差圖致し置いた事を改めいとは慮外千萬』

『正使任せに致されるなら、副使は無用の者で御座る、場所お改めなされて好からう』

『要らざる口出し、控へて御座れ』

『役目の表控へ申さぬ』

雙方いよ〳〵氣色立ち、すはや大事と見えた時、右京太夫、權右衛門二人の中を押隔て、言葉を盡して宥めて居ると、下總守は田村家の家老をもつて、内匠頭を呼出させ、即座に上意の旨を傳へた。

『淺野内匠頭、其方儀意趣有之由にて吉良上野介を及刄傷候段、殿中を憚り、時節柄と申し、重々不屆至極に候、依之切腹被仰付候者也』と嚴に讀み渡す内、内匠頭は低頭平身、落付切つた態度をもつて、

『今日不調なる仕方、如何樣にも仰付けらるべき儀を、切腹との御沙汰、難有存じ奉る』と御受けをすれば、御徒士目附三人づゝ左右に差添ひ、再び此處を立去つた。

多門傳八郎も、今は何程爭うた處で、竟竟無益と思ひ斷め、下總守へ打任したが、雙方再び言葉も交へず白眼合て居るのであつた。

此時右京太夫の家來檜川源吾、次の間から主人を招いて、何事か私囁けば、右京太夫檢使に向ひ、

『唯今内匠頭の家來片岡源吾右衛門と申す者參り、主人當家に於て、切腹と承はり、主從今生の暇乞ひ一目お逢はせ下さるやうと、押返しての願ひ、强て差留め申しては、如何樣の椿事、出來致さぬとも限り申さ』

『添けなう存じ申す』と源吾右衛門は、此の時初めてハラ〳〵と涙を溢した。

兩刀を源吾に渡し、數名の士に取圍まれて、大書院に導かれた源吾右衛門、主君の姿一と目見るや、間隔てゝばつたり平伏し、暫しは仰ぎ見る事も出來ぬのであつた。

『源吾右衛門か、好くぞ參つてくれた、今生に對面致して喜ばしい』と内匠頭は言葉を掛けた。

『ハヽー、唯今と相成りましては、何と申上ぐる言葉とても御座りませぬ』と血を吐くやうな聲で答へた。

『今日の次第、篤と内藏之助へ申遣はし、跡々の儀好きに計らひくれるやう』

『少しもお心に懸けさせられず、唯々尋常の御最期、願はしう存じ奉る』

『懸念致すな、疾より覺悟は極め居るぞ』と神色自若たるを見て、源吾右衛門は心の中に、無限の喜びを感じたのである。

騷動の後城内は、淺野内匠頭亂心と專らの取沙汰、之を聞く家中の者は口惜しさ遣る方なく、淺野家の滅亡よりも、銘々今後の難儀よりも、當座主君の身上を、一心に思詰めた。

源吾右衛門も内匠頭、若し亂心の體に見え、臨終の間際に至り、萬が一卑怯らしい振舞でもありさうならば、隙を見て生害を勸め、己れも其の場で腹かつさばき、殉死と決心して居たが、今主君のいつに變らず、悠揚迫らぬ態度を見て、ホツとばかり呼吸を吻いた。

『片岡氏、いざ此方へ、お願ひが叶ふで御座る』

『すりや主人の暇乞の儀、お聞濟み下されたとな』

『お喜びなされい、お目付多門傳八郎殿、御一存のお計らひ、無刀の儘暫時の對面、苦しからぬとの事で御座るぞ』

『すりやお許し下さるとな』

『傳八郎一存で、對面の儀さし許すもつとも帶刀は叶ひ申さぬ、死裝束の出來るまで、ゆるりと名殘を惜まして遣はされい』と情を含んでいふのである。

執政の處置に對して、二度までも故障を唱へ、今また上司と爭うた傳八郎は、重くて切腹、輕くて退役何の道今宵限りの勤め、四十三歳を一期として、明日は内匠頭の道伴と覺悟の高を括つて居るから、何事も一存の取計らひ、庄田下總守はあるか無いかの扱ひに、ともすれば討果しもしさうな勢ひ、權右衛門始め、徒歩目附一同は、絶えず手に汗を握つた。

併し今傳八郎の片岡源吾右衛門へ對する捌きは、何れも深く感心して流石は義あり勇ある士、ぼくねんじんの下總守とは大きな違ひと賞あげた。

片岡源吾右衛門は何だか何でも、一ト日主君に對面して、今生の暇を告げたい、此の願ひ叶はねば、生きて田村家を立去るまいと、覺悟極めた決死の心底、その顏色にも顯はれて居る。

檜川源吾は滿面に笑を含んで、玄關に飛出した。

『すりや主人の暇乞の儀、お聞濟み下されたとな』

『お喜びなされい、お目付多門傳八郎殿、御一存のお計らひ、無刀の儘暫時の對面、苦しからぬとの事で御座る』

『悉皆、此の願ひ叶はねば、生きて田村家を立去るまいと、覺悟極めた決死の心底、その顏色にも顯はれて居る』

『片岡氏、いざ此方へ、お願ひが叶ふで御座る』

『すりや主人の暇乞の儀、お聞濟み下されたとな』

『お喜びなされい、お目付多門傳八郎殿、御一存のお計らひ、無刀の儘暫時の對面、苦しからぬとの事で御座るぞ』

『添けなう存じ申す』と源吾右衛門は、此の時初めてハラ〳〵と涙を溢した。

兩刀を源吾に渡し、數名の士に取圍まれて、大書院に導かれた源吾右衛門、主君の姿一と目見るや、間隔てゝばつたり平伏し、暫しは仰ぎ見る事も出來ぬのであつた。

『源吾右衛門か、好くぞ參つてくれた、今生に對面致して喜ばしい』と内匠頭は言葉を掛けた。

『ハヽー、唯今と相成りましては、何と申上ぐる言葉とても御座りませぬ』と血を吐くやうな聲で答へた。

『今日の次第、篤と内藏之助へ申遣はし、跡々の儀好きに計らひくれるやう』

『少しもお心に懸けさせられず、唯々尋常の御最期、願はしう存じ奉る』

『懸念致すな、疾より覺悟は極め居るぞ』と神色自若たるを見て、源吾右衛門は心の中に、無限の喜びを感じたのである。

騷動の後城内は、淺野内匠頭亂心と專らの取沙汰、之を聞く家中の者は口惜しさ遣る方なく、淺野家の滅亡よりも、銘々今後の難儀よりも、當座主君の身上を、一心に思詰めた。

源吾右衛門も内匠頭、若し亂心の體に見え、臨終の間際に至り、萬が一卑怯らしい振舞でもありさうならば、隙を見て生害を勸め、己れも其の場で腹かつさばき、殉死と決心して居たが、今主君のいつに變らず、悠揚迫らぬ態度を見て、ホツとばかり呼吸を吻いた。

婦人欄

●師範學校女教諭の棄兒事件（六）

▲戀に陷つた徑路

◉かよ子は警察署に引かれた。引かれ者となつた彼女は、世傳警部補の取調べを受けたが、彼女は流石に一絲亂れぬ態度でその當時の模樣を索然の要求を裏切つて、寂しい獨身生活を押通して來た中年の女どが、かうして夜夜、漢文の固い字に親しみながら、相逢ふ機會の多くなるにつれて單純な師弟關係から親い友愛へと陷つていつたのは、自然の徑路かも當時まだ十九歳の正芳と、美しい教育者の名に囚はれて、永年人間自然の要求を裏切つて、寂しい獨身生活を押通して來た中年の女どが、かうして夜夜、漢文の固い字に親しみながら、相逢ふ機會の多くなるにつれて單純な師弟關係から親い友愛へと陷つていつたのは、自然の徑路といはねばならない。

◉純な感激し易い、孤獨な若者、し

◉かよ子は警察署に於ては、大津署では『嬰兒遺棄』と『認め』て事件をそのまゝ檢事局へ送つた、吉田檢事のメスのやうな言葉は、傷める彼女の胸をごんなに突破つて行つた事であつたらう彼女はどうしても言はねばならぬやうになつた。彼女は遂に商船學校生徒小林正芳（二）と隱さねばならない人の名を始めて人に語つたのである世はすべて彼女にとつて、呪ひの權化であつたに違ひない。

◉靜岡市深草の德川公の別邸跡近くに、宏大な邸宅を構へてゐる靜岡市第三十五銀行取締役小林文男氏の甥で、今は東京の商船學校の一年生小林正芳こそ、彼女の愛人といふことが判明した、正芳の祖父はもと靜岡國立銀行の頭取を勤め、縣下實業界の重鎮たりし人、正芳は幼い頃、父に死別れ、母に生別れてから、祖母と共に實の叔父なる小林文男氏の監督扶助の元に靜岡中學へ通つた。それから豫て宿望の商船學校に入學すべく夜七時頃から外人の宅や、母校の白鳥教諭の許に通つた。彼が最も不得手な漢文の實習を名に、叔父には詰さずに、かよ子の下宿なる靜岡市外大岩の望月氏方の離れ座敷へ通ひ出したのもまたこの頃からであつた。

◉彼女が昨年十二月のとある日の夜靜岡の停車場を下りて、自分が間借してゐる望月方へ歸らうと、公園になつてゐる淺間神社の境内を通つた時、何者とも知れぬ男に犯されて終にそれから姙娠したので、今まで自分は決して他の男と醜關係を結んだ覺えは無いと言ひ張つた。

◉棄兒と凌辱とは警察署に於ては、醜關係がないので、大津署では『嬰兒遺棄』と『認め』て事件をそのまゝ檢事局へ送つた、吉田檢事のメスのやうな言葉は、傷める彼女の胸をごんなに突破つて行つた事であつたらう彼女はどうしても言はねばならぬやうになつた。彼女は遂に商船學校生徒小林正芳（二）と隱さねばならない人の名を始めて人に語つたのである世はすべて彼女にとつて、呪ひの權化であつたに違ひない。

◉靜岡市深草の德川公の別邸跡近くに、宏大な邸宅を構へてゐる靜岡市第三十五銀行取締役小林文男氏の甥で、今は東京の商船學校の一年生小林正芳こそ、彼女の愛人といふことが判明した、正芳の祖父はもと靜岡國立銀行の頭取を勤め、縣下實業界の重鎮たりし人、正芳は幼い頃、父に死別れ、母に生別れてから、祖母と共に實の叔父なる小林文男氏の監督扶助の元に靜岡中學へ通つた。それから豫て宿望の商船學校に入學すべく夜七時頃から外人の宅や、母校の白鳥教諭の許に通つた。彼が最も不得手な漢文の實習を名に、叔父には詰さずに、かよ子の下宿なる靜岡市外大岩の望月氏方の離れ座敷へ通ひ出したのもまたこの頃からであつた。

◉純な感激し易い、孤獨な若者、し

のです、と言ふより外はなかつた。

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.
(THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.)
Rua da Candelaria, No. 23
Caixa Postal 380
Rio de Janeiro

キリトリテ、テガミノ、オモテニ、ハラルベシ

ANTUNES DOS SANTOS & COMP.
AGENTES DAS COMPANHIAS
NIPPON YUSEN KAISHA : OSAKA SHOSEN KAISHA

大阪商船會社定期船
●パナマ丸
四月初旬ブエノスよりリオへ寄港北米を經て日本へ向ふ豫定
日本郵船會社船
●函館丸
四月上旬ブエノスよりリオへ寄港日本へ向ふ
但し三等客は御斷り申候
御用の方は左記へ御照會ありたし
アンツーネス、ドス、サントス會社
(Caixa Postal, 237)
Rua Libero Badaro 93, S. Paulo

リオ、デ、ジャネイロ
横濱正金銀行支店

金送里鄕

一、日本金に引直相場は當分佰貨參ミル二百五十レースにつき日本金壹圓
二、日本内地郵便爲替料、書留料其他總て當店に於て負擔いたし即ち全く無手數料にて御鄕里の受取人へ送り屆け申上候
三、金子は現金封入、郵便爲替又は銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶ほ横濱正金銀行勘定として Banco Commercial do Estado de São Paulo へ御拂込被下候ても差支無之候
四、何れにしても送金申込書は必ず忘れずに當店へ御送り被下たく候

預金

日本貨定期預金利息　六ヶ月以上　年六分
伯貨定期預金利息　六ヶ月以上　年五分五厘
伯貨當座預金（小口）　壹ヶ年以上　年六分
年四分

◆預送金用紙は御請求次第直に御送り可致御不審の點は御遠慮なく御問合せ被下度候
◆預金通帳は書留郵便にて御送付可申上候間御申込の際最寄郵便局御指定相成候はゞ御便宜に有之候